

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第42週（令和7年10月13日～令和7年10月19日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

伝染性紅斑の定点当たりの報告が1.57で、警報レベルの状況が続いています。本疾患は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられます。微熱や風邪の症状等がみられ、その後、両頬がリンゴのように赤くなる発しんが出現します。これまで本疾患に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、流産等のリスクとなる可能性があります。本疾患を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がない場合もあるため、周囲に感染した人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。ウイルスの排出量は、発しん出現前が一番多く、咳等の飛沫や、感染者との接触で感染します。こまめな手洗いや咳エチケット、適切なマスク着用等の感染対策を心がけましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	597	221	11,145
腸管出血性大腸菌感染症	5	239	73	3,323
日本紅斑熱	1	15	24	530
レジオネラ症	4	63	60	1,882
アメーバ赤痢	1	18	8	355
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	65	18	989
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	59	18	1,115
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	25	9	543
侵襲性肺炎球菌感染症	3	108	18	2,730
梅毒	9	604	165	10,985
百日咳	34	2,999	944	81,828

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	270	2.21	0.67	14,303	3.72
インフルエンザ	330	2.70	1.26	9,074	2.36
急性呼吸器感染症	5,295	43.40	0.81	230,808	60.20
RSウイルス感染症	159	2.27	0.82	3,806	1.63
咽頭結膜熱	35	0.50	0.69	606	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	164	2.34	0.76	4,512	1.93
感染性胃腸炎	289	4.13	0.79	9,169	3.92
水痘	12	0.17	0.86	516	0.22
手足口病	38	0.54	1.00	850	0.36
伝染性紅斑（警報レベル）	110	1.57	0.73	2,928	1.25
突発性発しん	31	0.44	1.24	657	0.28
ヘルパンギーナ	6	0.09	2.00	1,050	0.45
流行性耳下腺炎	3	0.04	1.00	111	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.04	0.33	11	0.02
流行性角結膜炎	52	2.00	1.73	727	1.05
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	4	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	－	28	0.06
マイコプラズマ肺炎	13	0.87	0.76	734	1.53
クラミジア肺炎	0	0.00	－	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	5	0.01